

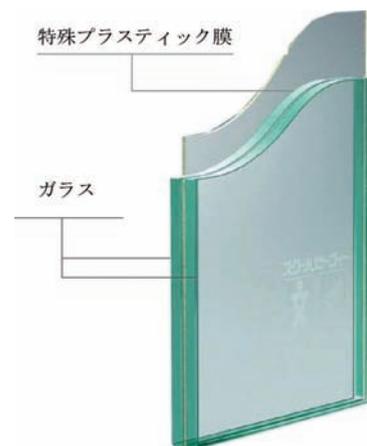
ガラスパワーキャンペーン 避難場所への防災ガラスの認知啓蒙活動

日本Ⅲ

近年、地震や台風などの自然災害が多発し、割れたガラスによるケガや避難場所のガラスが割れて避難ができないなどの被害が発生しています。このような被害の発生防止には、割れにくく、また割れても破片が飛び散りにくい防災合わせガラスが有効ですが、その存在・有効性はまだまだ認知されていないのが現状です。

地球環境を守ること、子供たちの明日を守ることは、地球に生きる私たち一人ひとりが最優先で考え実行しなければならない義務です。当社は建築用ガラス製造企業として、防災機能を持った「合わせガラス」や省エネ機能を持った「高断熱・遮熱ガラス」の普及及び認知向上に積極的に取り組むため、＜ガラスパワーキャンペーン＞を開始することとしました。

2005年10月より安全・防災・地球温暖化防止に向けた＜ガラスパワーキャンペーン＞の一環として、防災機能を持った「合わせガラス」の普及及び認知向上のため、一般参加型寄贈活動を展開しています。



合わせガラスの構造

＜ガラスパワーキャンペーン＞の主な活動内容

- 全国各地の指定避難場所への、合わせガラスの寄贈
- 合わせガラスや高断熱・遮熱ガラスの認知啓蒙活動
- 小学校においてガラスの持つ防災・省エネ機能を説明する、出張授業の実施

また、この活動のコミュニケーションの中心として＜ガラスパワーキャンペーン＞サイトを開設し、ワンクリックガラス寄贈活動 やバーチャル工場見学、防災啓蒙、活動レポート等へ活用しています。

ワンクリックガラス寄贈活動は、キャンペーン専用サイトに日本地図を用意し一般の方から任意の都道府県をクリックして頂き、クリック数が都道府県で20,000回に達した場合、その都道府県の指定避難場所に当社が防災合わせガラスを寄贈する活動です。

「全国の指定避難場所を安全な防災ガラスにしよう」というわたしたちの活動は、多くの方から賛同を得て、2年間で15件の避難場所に防災ガラスを寄贈することができました。しかし、全国には防災ガラスが使われていない危険な指定避難場所が数多く残されています。そこで、3年目に入った「ガラスパワーキャンペーン」でも、指定避難場所への防災ガラスの寄贈を続けていきます。2008年度は、5件の指定避難場所に防災ガラスを寄贈します。

当社では、今後も参加者全員が実践者として自覚し積極的に実行する「参加型キャンペーン」を通じ、安心して安全な社会づくりに貢献していきます。

— 背景

2004年に発生した新潟県中越地震の際、「指定避難所である体育館のガラスが一部割れたので、余

震の際怖くて窓際に行けない。だから、夜は体育館の真ん中にしか寝られないので、車の中で寝ることにしている。」との住民の声があったことをきっかけに、防災ガラスの存在を広く世間一般に知ってもらい、地域の方々が気軽に参加できるプロジェクトを検討、「ガラスパワーキャンペーン」を開始しました。

※防災ガラス…2枚の板ガラスの間に強靱で柔軟な特殊フィルムをはさみ接着した安全ガラス。



一 目 的

ガラスの持つ機能と性能が、防災対策や地球温暖化防止などに役立つということを多くの人に知ってもらい、安心・安全な社会づくりや環境保護活動に役立ててもらおうことを目指し、また、「全国の指定避難場所を安全な防災ガラスにしよう」という旭硝子株式会社が展開する社会貢献活動です。

一 期 間

当初2005年10月より2年間

現在2009年10月まで延長

一 活 動

- 全国各地の指定避難場所への、合わせガラスの寄贈
- 合わせガラスや高断熱・遮熱ガラスの認知啓蒙活動
- 小学校においてガラスの持つ防災・省エネ機能を説明する、出張授業の実施

一 連 絡 先

旭硝子(株) ガラスパワーキャンペーン

Kouzou Ozawa, Director of the Glass Power Campaign - Project Secretariat

E-mail : kouzou-ozawa@agc.co.jp

URL:<http://www.glasspower.jp/ENG/> (English) <http://www.glasspower.jp/> (Japanese)